

「みんなちがってみんないい」

現在は「温かな出会いと仲間づくり」のステージです。H25年度がスタートして2週間がたちましたが、温かな出会いがきっとあったのではないかと思います。また、各学年行事に向けて、仲間作りが進んでいる頃だと思っています。

さて、「仲間作り」の一番の基本になること、そして、温かな出会いの基礎になることは何なのかと考えてみました。みなさんは何だと思えますか。

出会い、仲間作りにとって大切なことはきっとたくさんあるのではないかと思います。みんなも頭の中にいくつかの言葉が浮かんだのではないのでしょうか。

先生はこう考えました。出会いや仲間作りに大切なこと、それは「お互いの違いを認めること」ではないかと思うのです。人は、男女の違いがあり、顔形が違い、体格が違い、性格が違い、そして、感じ方も考え方も違います。一人として同じ人はいません。みんなそれぞれ、別々の個性をもって生きています。そして、全く違う個性の人たちが学校という集団を作って生活しています。

他の中学校に比べると人数の少ないこの栄川中学校のみなさんは、小さな頃からよく知っている人たちが多くでしょう。「あの人はこんな性格だ」とわかっているという人も少なくないかもしれません。しかし、ある人の性格や考え方を全て知っているということはないと思うのです。同じ人でもいろいろな面をもっている、これが、個性ではないかと思います。

みなさんはこういう経験はないですか。たとえば、「去年の栄中祭の練習で、普段は物静かな〇〇君がみんながまとまらなかった時、きりっとした態度でみんなに指示を出してくれた。」……場面や様子は違っても、「あれっ、この人はこんな考え方や行動をするんだ」と改めて感じた経験はきっとあるでしょう。人によって、考え方や感じ方が違うのが当たり前で、人はいろいろな一面をもっています。

そんな「お互いの違いを認めることの大切さ」を表した詩を紹介します。有名な詩なのできっと聞いたことのある人もあるかと思います。

私と小鳥と鈴と

金子みすゞ

私が両手をひろげても、  
お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のように、  
地面を速くは走れない。



私がからをゆすっても、  
きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のように  
たくさんの唄は知らないよ。



鈴と、小鳥と、それから私、  
みんなちがって、みんないい。

お互いの違いを認めながら、そして、お互いの良さを認めながら、生活することができるともっともっと過ごしやすい栄川中学校にできると思います。

今日は「みんなちがってみんないい」というお話をしました。